



学校だより



10月号

令和5年9月29日
横浜市立善部小学校
校長 朝川健太郎

キャリア教育への第一歩

校長 朝川 健太郎

記録的な猛暑だった夏の暑さに比べると朝夕は少し涼しくなり、日中も過ごしやすくなってきました。夏休み明けには暑さのためほとんど外で遊ぶことができなかつた中休みにも、子どもたちの遊ぶ声が戻ってきました。ようやくZSFの練習も開始することができ、子どもたちは演技や徒競走の練習に励んでいます。

9月には1年生が八景島シーパラダイスへ遠足に出かけ、5年生はみなとみらいホールでのふれあいコンサートを鑑賞しました。9月26日には横浜隼人での芸術鑑賞会に1~4年生が参加し、和太鼓やソーラン節の迫力ある演技に感動していました。また、456組は三ツ沢野外活動センターでの旭区合同宿泊体験学習に参加しました。合同宿泊学習とは、笹野台小学校、東希望が丘小学校、善部小学校の3校と一緒に宿泊し、到着式や出発式、夕べの集いなどを3校合同で行うものです。実施は実に3年ぶり、他校の児童と触れ合ったり、野外活動を体験をしたりと学校内では経験できないことをたくさん経験した2日間となりました。

校外学習を行うと他校の児童や生徒、働いている人達とたくさん触れ合うことになります。電車に乗る時のマナーや他人への思いやりを身につけるとともに、様々な仕事に従事している人がいるということを知ることができます。遠足や校外学習において、働いている大人の姿を見ることは、将来の自分の仕事について考えるキャリア教育の第一歩だと考えます。電車やバスの運行に携わる仕事、コンサートホールの運営を行う仕事、オーケストラで演奏する仕事、水族館で生き物を育てる仕事など普段は接することのない人々と接することにより、様々な仕事があることを知り、職業選択の幅が広がります。



子どもたちの世界は家族から学校、地域へと少しずつ広がっていきます。それに伴って接する大人も親から先生、地域の方へと広がっていきます。校外に出ることによって、世の中には多くの方が働いていて、その人たちによって社会が形成されていることを知ります。自分の将来について考えるきっかけとなり、その実現に向かって努力するようになります。様々な大人との出会いはキャリア教育の第一歩であると考えます。様々な大人との出会いを通して、将来、社会の一員としての役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できる子の育成を図っていきます。